

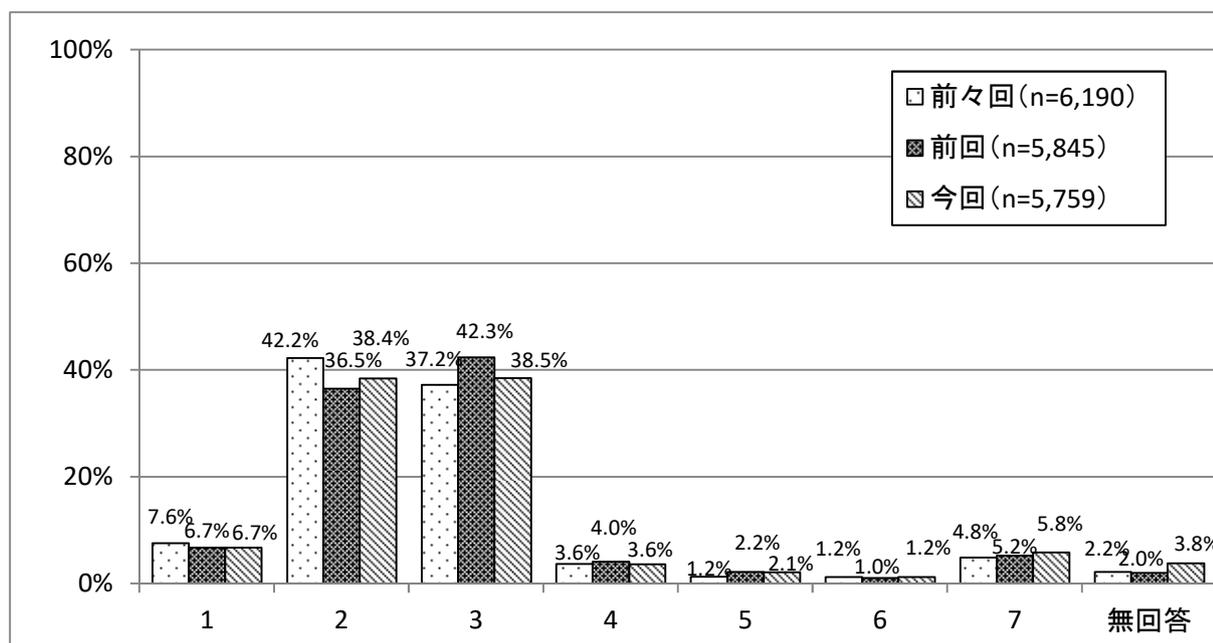
第4節 介護・在宅医療について

問16 あなたは、介護が必要になった時、どこで暮らしたいですか。〔当てはまるもの 1つに○〕

<表2-16-1:どこで暮らしたいか>

	人数	構成比
1 介護サービスを使用せず、家族に介護してもらいながら、ずっと自宅で暮らしたい	385	6.7%
2 介護サービスを活用しながら、ずっと自宅で暮らしたい	2,210	38.4%
3 介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らし、重くなったら特別養護老人ホームなどに移りたい	2,216	38.5%
4 介護の度合いが軽いうちから、民間の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などに移りたい	207	3.6%
5 すでに施設に入所している	121	2.1%
6 その他	70	1.2%
7 わからない	333	5.8%
(無回答)	217	3.8%
合計	5,759	100.0%

<図2-16-1>



介護が必要となった時、どこで暮らしたいかについては、「介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らし、重くなったら特別養護老人ホームなどに移りたい」が38.5%と最も高く、次いで「介護サービスを活用しながら、ずっと自宅で暮らしたい」が38.4%、「介護サービスを使用せず、家族に介護してもらいながら、ずっと自宅で暮らしたい」が6.7%であった。

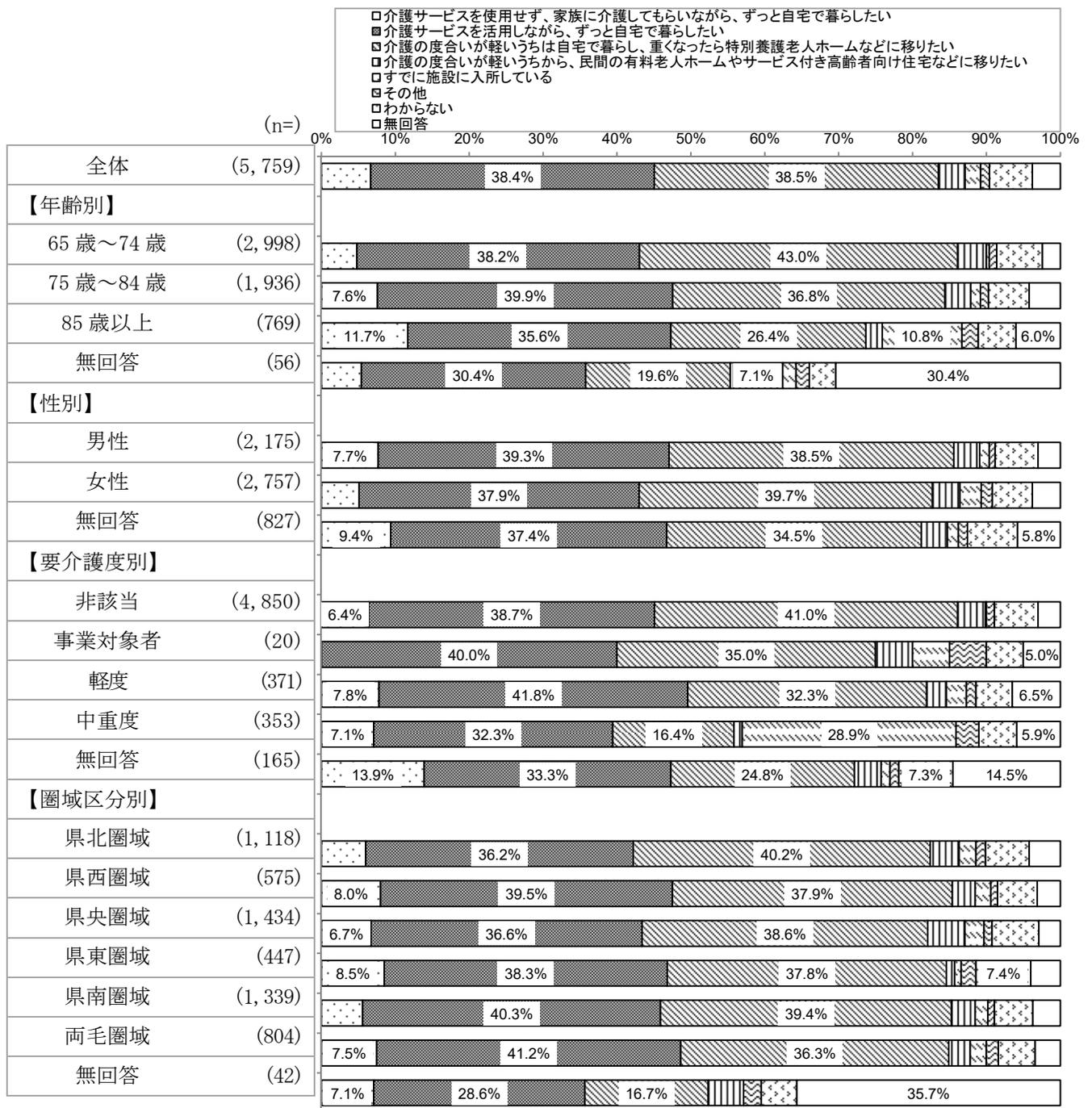
その他としては、「特別養護老人ホームに移りたいが資金がなく不安」、「自分の年金で入れる施設がほしい」などの回答がみられた。

前回との比較では、すべての項目で差が5ポイント未満となっており、大きな違いはみられなかった。

<表 2-16-2 : 年齢別/性別/要介護度別/圏域区分別>

選択項目		介護サービスを利用しないが、家族に介護してほしい	介護サービスを活用しながら暮らしたい	介護の度合いが軽いうち、自宅などで暮らしたい	介護の度合いが軽いうち、自宅などで暮らしたいが、特別養護老人ホームなどに移りたい	軽度の有料老人ホームやサービスの付き高齢者向け住宅などに移りたい	すでに施設に入所している	その他	わからない	無回答	合計
全体	人数	385	2,210	2,216	207	121	70	333	217	5,759	
	構成比	6.7	38.4	38.5	3.6	2.1	1.2	5.8	3.8	100.0	
【年齢別】											
65歳～74歳	人数	144	1,146	1,290	118	11	31	185	73	2,998	
	構成比	4.8	38.2	43.0	3.9	0.4	1.0	6.2	2.4	100.0	
75歳～84歳	人数	148	773	712	68	26	21	107	81	1,936	
	構成比	7.6	39.9	36.8	3.5	1.3	1.1	5.5	4.2	100.0	
85歳以上	人数	90	274	203	17	83	17	39	46	769	
	構成比	11.7	35.6	26.4	2.2	10.8	2.2	5.1	6.0	100.0	
無回答	人数	3	17	11	4	1	1	2	17	56	
	構成比	5.4	30.4	19.6	7.1	1.8	1.8	3.6	30.4	100.0	
【性別】											
男性	人数	167	855	837	77	29	18	127	65	2,175	
	構成比	7.7	39.3	38.5	3.5	1.3	0.8	5.8	3.0	100.0	
女性	人数	140	1,046	1,094	101	80	42	150	104	2,757	
	構成比	5.1	37.9	39.7	3.7	2.9	1.5	5.4	3.8	100.0	
無回答	人数	78	309	285	29	12	10	56	48	827	
	構成比	9.4	37.4	34.5	3.5	1.5	1.2	6.8	5.8	100.0	
【要介護度別】											
非該当	人数	308	1,878	1,990	186	6	51	284	147	4,850	
	構成比	6.4	38.7	41.0	3.8	0.1	1.1	5.9	3.0	100.0	
事業対象者	人数	0	8	7	1	1	1	1	1	20	
	構成比	0.0	40.0	35.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	100.0	
軽度	人数	29	155	120	10	10	5	18	24	371	
	構成比	7.8	41.8	32.3	2.7	2.7	1.3	4.9	6.5	100.0	
中重度	人数	25	114	58	4	102	11	18	21	353	
	構成比	7.1	32.3	16.4	1.1	28.9	3.1	5.1	5.9	100.0	
無回答	人数	23	55	41	6	2	2	12	24	165	
	構成比	13.9	33.3	24.8	3.6	1.2	1.2	7.3	14.5	100.0	
【圏域区分別】											
県北圏域	人数	67	405	449	44	26	14	66	47	1,118	
	構成比	6.0	36.2	40.2	3.9	2.3	1.3	5.9	4.2	100.0	
県西圏域	人数	46	227	218	18	12	5	31	18	575	
	構成比	8.0	39.5	37.9	3.1	2.1	0.9	5.4	3.1	100.0	
県央圏域	人数	96	525	554	72	38	16	91	42	1,434	
	構成比	6.7	36.6	38.6	5.0	2.6	1.1	6.3	2.9	100.0	
県東圏域	人数	38	171	169	5	4	9	33	18	447	
	構成比	8.5	38.3	37.8	1.1	0.9	2.0	7.4	4.0	100.0	
県南圏域	人数	75	539	527	43	23	12	70	50	1,339	
	構成比	5.6	40.3	39.4	3.2	1.7	0.9	5.2	3.7	100.0	
両毛圏域	人数	60	331	292	23	18	13	40	27	804	
	構成比	7.5	41.2	36.3	2.9	2.2	1.6	5.0	3.4	100.0	
無回答	人数	3	12	7	2	0	1	2	15	42	
	構成比	7.1	28.6	16.7	4.8	0.0	2.4	4.8	35.7	100.0	

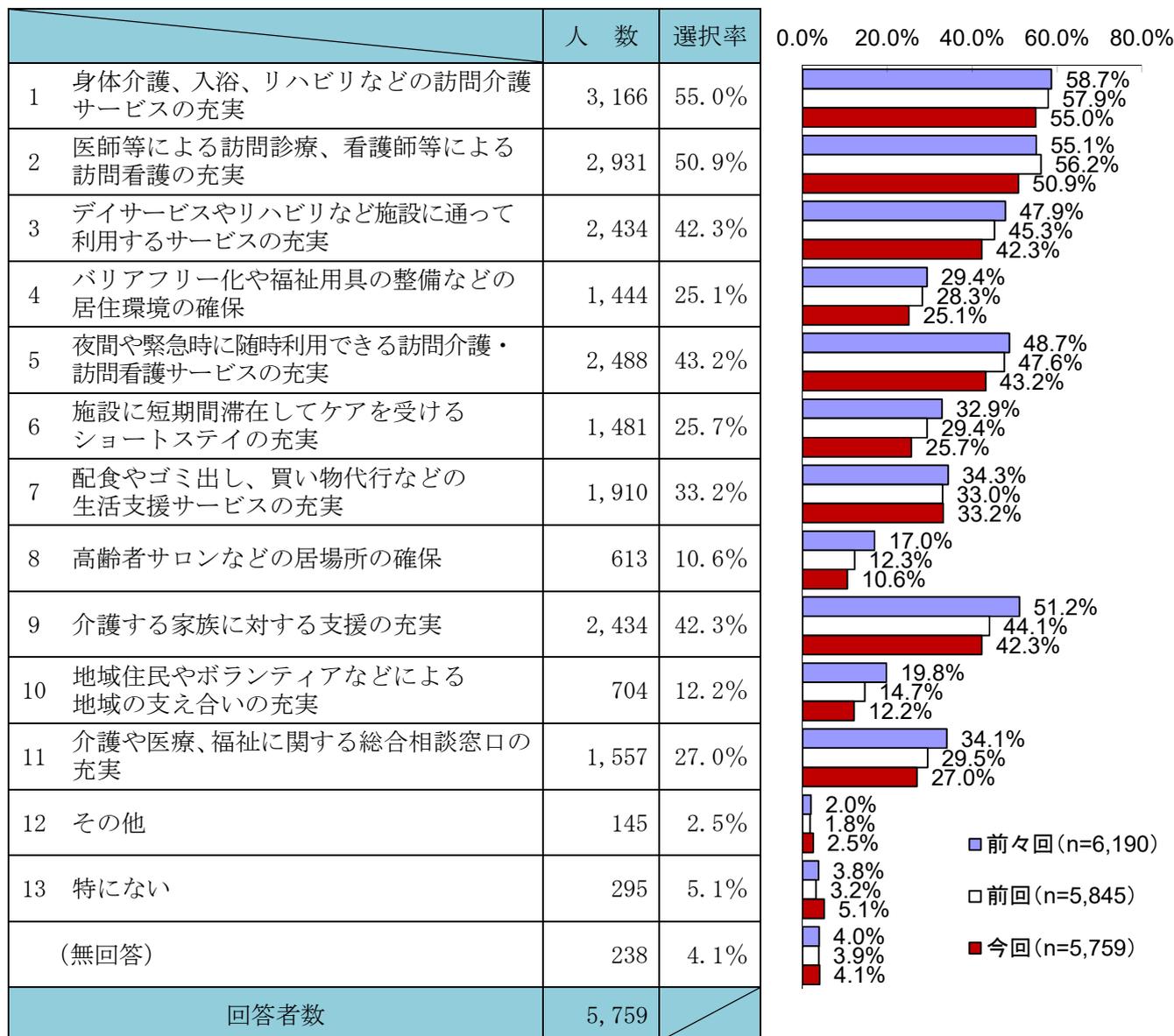
<図 2-16-2 : 年齢別/性別/要介護度別/圏域区分別>



問 17 介護が必要になった時、あなたが自宅で暮らし続けるために必要だと思うことは何ですか。

〔当てはまるもの すべてに○〕

<図表 2-17:介護時、自宅での生活に何が必要>



介護が必要となった時、自宅で暮らし続けるために必要だと思うことについては、「身体介護、入浴、リハビリなどの訪問介護サービスの充実」が55.0%と最も高く、次いで「医師等による訪問診療、看護師等による訪問看護の充実」が50.9%、「夜間や緊急時に随時利用できる訪問介護・訪問看護サービスの充実」が43.2%であった。

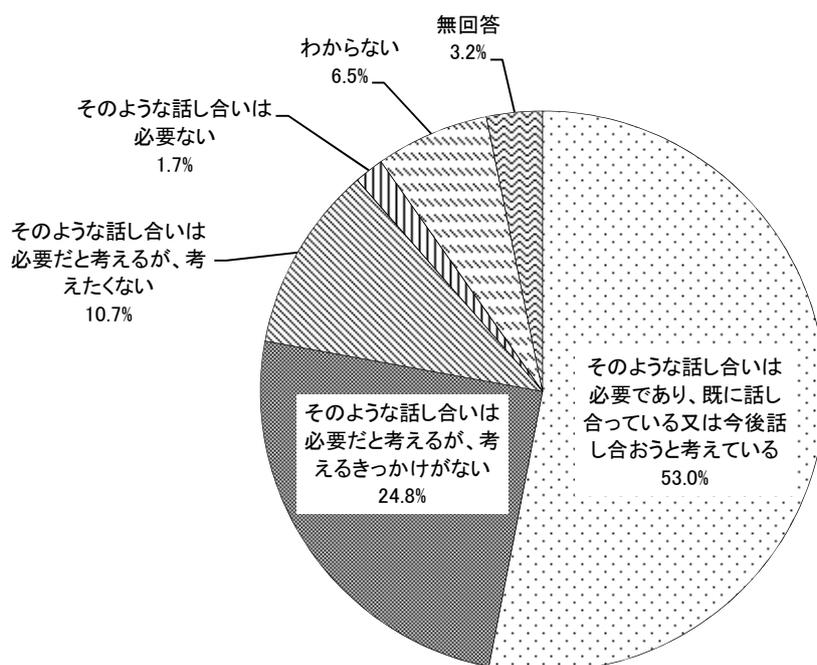
前回との比較では、「医師等による訪問診療、看護師等による訪問看護の充実」が5.3ポイント低くなっていた。

問 18 あなたが、人生の最期にどんな医療やケアを望むのかを家族など信頼できる人と繰り返し話し合うことについて、どのようにお考えですか。〔当てはまるもの 1つに○〕

<表 2-18:最期に関する話し合いについての考え>

	人 数	構成比
1 そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている	3,055	53.0%
2 そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない	1,428	24.8%
3 そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない	617	10.7%
4 そのような話し合いは必要ない	100	1.7%
5 わからない	373	6.5%
(無回答)	186	3.2%
合 計	5,759	100.0%

<図 2-18>



最期に関する話し合いについての考えについては、「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」が53.0%と最も高く、次いで「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」が24.8%、「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない」が10.7%、「わからない」が6.5%であった。

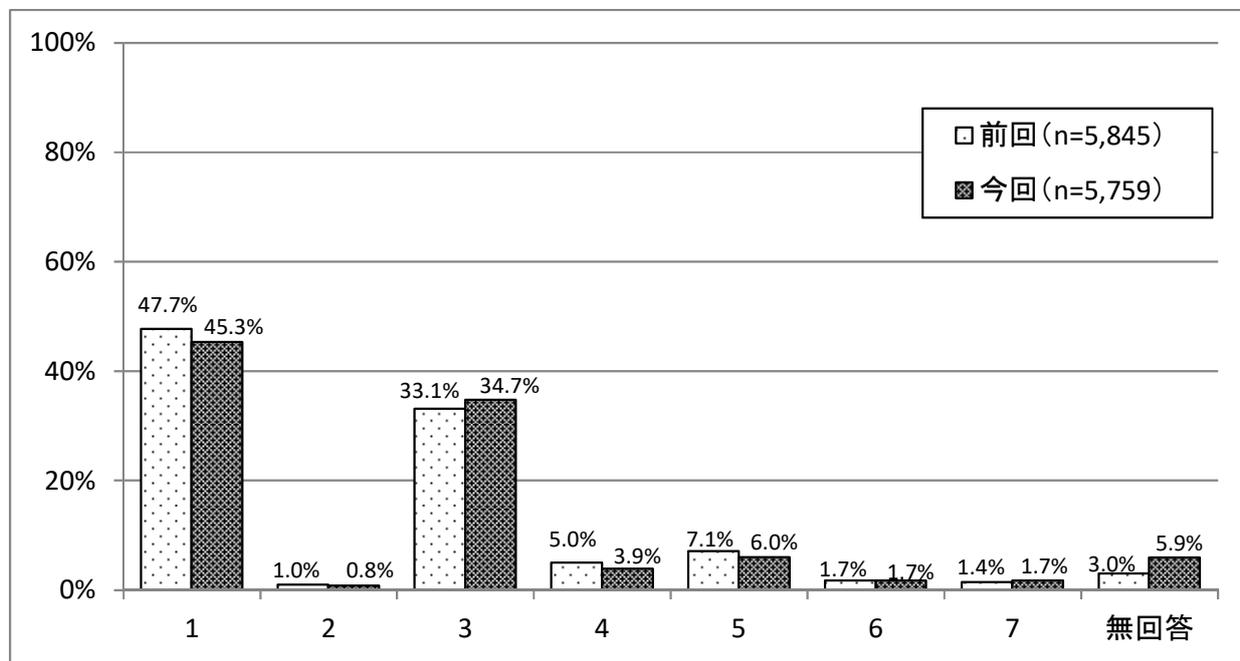
問 19 あなたは、治る見込みがない病気や状態になった場合、どこで最期を迎えたいですか。

【当てはまるもの 1つに○】

<表 2-19: どこで最期を迎えたいか>

	人 数	構成比
1 自宅	2,606	45.3%
2 子どもや兄弟姉妹など親族の家	48	0.8%
3 病院などの医療施設	2,000	34.7%
4 介護老人保健施設	227	3.9%
5 特別養護老人ホームなどの福祉施設	343	6.0%
6 民間の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅など	98	1.7%
7 その他	97	1.7%
(無回答)	340	5.9%
合 計	5,759	100.0%

<図 2-19>



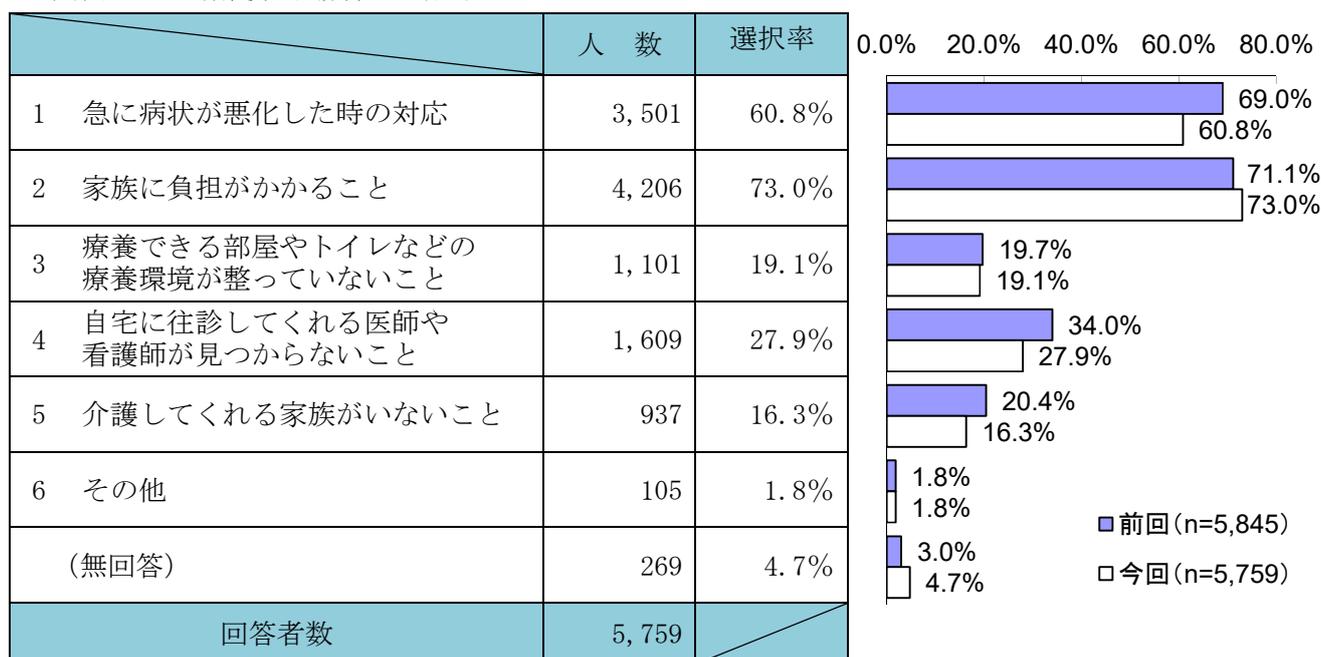
治る見込みがない病気や状態になった場合、どこで最期を迎えたいかについては、「自宅」が 45.3%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」が 34.7%、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」が 6.0%であった。

その他としては、「自宅だと思っけていても、現実的には無理だろう」といった回答がみられた。

前回との比較では、すべての項目で差が 5 ポイント未満となっており、大きな違いはみられなかった。

問 20 あなたが在宅で療養をする場合、どのようなことが心配ですか。〔当てはまるものに ○（3つまで）〕

＜図表 2-20:療養する場合に心配なこと＞



療養する場合に心配なことについては、「家族に負担がかかること」が73.0%と最も高く、次いで「急に病状が悪化した時の対応」が60.8%、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないこと」が27.9%、「療養できる部屋やトイレなどの療養環境が整っていないこと」が19.1%、「介護してくれる家族がいないこと」が16.3%であった。

その他としては、「老々介護となるため、在宅は困難」などの回答がみられた。

前回との比較では、「急に病状が悪化した時の対応」が8.2ポイント、「自宅に往診してくれる医師や看護師が見つからないこと」が6.1ポイント低くなっていた。